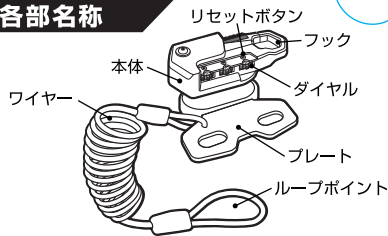


ヘルメット用ワイヤーロック ハンドルクランプ取付 コイル

取扱説明書

●この取扱説明書をよくお読みの上、安全に正しくお使いください。
(取扱説明書はお手もとに保管してください。)

各部名称



付属品

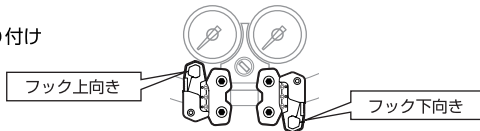


取付方法

右記の工具をご用意ください ➡

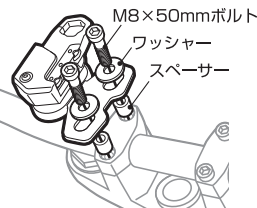
6mm 六角レンチ

- 1 ハンドルの状態により取り付け位置・向きを決めます。



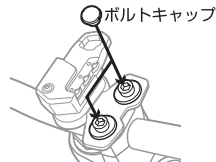
- 2 ハンドルクランプを固定している純正ボルトを取り外します。(※外した純正ボルトは使用しませんので大切に保管してください)

- 3 本体をスペーサー、ワッシャー、M8×50mm ボルトにて取り付けます。この時ハンドル等と接触しないように確認しながら取り付けてください。

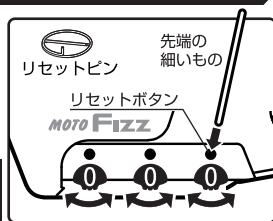


注意 ボルトの締め付けトルクは車両のサービスマニュアルをご参照ください。

- 4 ハンドルを左右に切って製品本体やワイヤーがタンク・カウル・スイッチ類との接触が無いかなど運転操作に支障が無いかなどを確認ください。各取り付け部を確認し、最後にボルトの六角穴部にボルトキャップをはめて完成です。※盗難抑止の為ボルトキャップは必ずはめてください。



暗証番号の設定方法



- ① 鍵が開く番号に合わせます。(初期設定は"000"です) ※この状態でないと番号の設定はできません。
- ② 付属のリセットピンまたは先端の細いものでリセットボタンを押し込んだまま各ダイヤルを回し新しい番号に合わせます。※リセットピンはワイヤーに括りつけられています。取り外してご使用ください。
- ③ リセットボタンを離すと新しい番号が設定されます。※作業後に新しい番号で開錠できる事を必ずご確認ください。開錠しない場合は①と②の作業をやり直します。

重要：設定した暗証番号は忘れないよう必ずメモをし、保管してください。

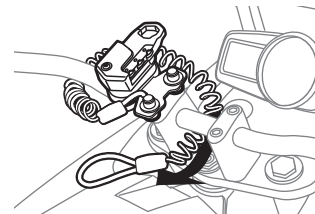
- この製品は盗難やイタズラを抑制するものであり、完全な盗難防止を保障するものではありません。
- 解錠番号を忘れてしまった場合は全ての番号の組み合わせを1回づつ試して解錠してください。
- 製品の誤用や不当な扱いによる損傷、機会損失に係る費用については補償いたしかねますので予めご了承ください。

取扱説明書

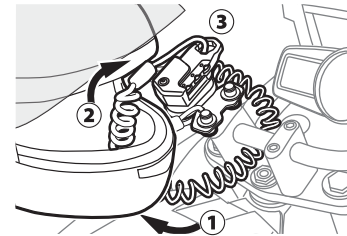
使用方法

ヘルメットのロック方法

- 1 ワイヤーをハンドルに通します。



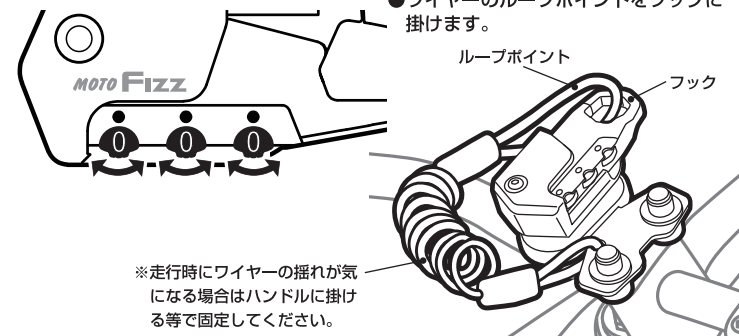
- 2 ワイヤーをヘルメットの顎部分に通し、ワイヤーのループポイントを本体のフックに掛けます。



- 3 ダイヤル(3桁)を回し施錠します。

ワイヤーの収納方法

- ワイヤーのループポイントをフックに掛けます。



※走行時にワイヤーの揺れが気になる場合はハンドルに掛ける等で固定してください。

警告 この表示の内容を守らないと、死亡や大ケガなどの重症を負う可能性が想定される内容を示しています。

- ボルトは車両のサービスマニュアルに従い規定トルクを厳守してください。締め付け不良はハンドルのガタや緩み、ボルトやネジ穴の破損、脱落等につながります。
- 製品の取り付け後は定期的にガタや緩みがないかチェックを行ってください。
- 走行中に異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ異常箇所の点検を行ってください。
- 走行中に製品の操作は行わないでください。
- ヘルメットを掛けた状態で走行は大変危険ですので絶対におやめください。

注意 この表示の内容を守らないと、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害が想定される内容を示しています。

- 法令を守りお取り付けください。
- 装着した状態でハンドルを左右に切ってタンクやカウル等への接触が無いかなどを確認してください。
- 作業を行う際は、その作業に適した工具をご使用ください。
- 他製品との同時取り付けをしないでください。ネジ山の噛み込みが少なくなり、脱落する恐れがあります。
- 雨などの影響によりカギの動作がスムーズに行えなくなった場合は潤滑剤等を使用しメンテナンスを行ってください。
- 本製品はヘルメットを安定した場所に置く事を前提に設計されています。ヘルメットをミラーに掛けたり、ワイヤーにヘルメットをぶら下げたりしないでください。又、フックに直接ヘルメット顎部のDリングを掛けないでください。
- 本製品の仕様は改良の為、予告無く変更する場合がありますので予めご了承ください。